

令和元年度（2019年度）学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
阿蘇	阿蘇市	阿蘇市立阿蘇小学校

1 目標

環境に優しい学校や地域作りを行うために、次の目標を達成するようにする。

- 身の回りの環境について、自分ができることから継続して行っていく態度を育てる。
- ふるさとの「阿蘇」を大切にできる心情を育てる。
- 学校における活動から、家庭や地域社会との連携へと広げていく。

この目標達成に向けて、生き物環境委員会による児童の主体的な活動を中心に、次のような取組を行った。

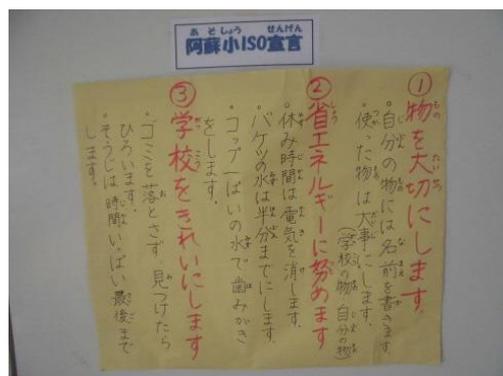
2 宣言

本校の児童と職員の実態から、次の3つの宣言項目を設定した。

(1) 児童版

阿蘇小学校版環境ISO宣言

- ① 物を大切にします。
 - ・自分の物には名前を書きます。
 - ・使った物は大事にします。
- ② 省エネルギーに努めます。（昨年度比3%減）
 - ・休み時間は電気を消します。
 - ・バケツの水は半分までにします。
 - ・コップ一杯の水で、歯磨きをします。
- ③ 学校をきれいにします。
 - ・そうじは、時間いっぱい最後までします。
 - ・ゴミを落とさず、見つけたらひろいます。



(2) 職員版

阿蘇小学校版環境ISO宣言

- ① 物を大切にします。
 - ・紙の消費を抑え、両面印刷や裏紙を利用します。
- ② 省エネルギーに努めます。（昨年度比3%減）
 - ・必要でない電気は、スイッチを切ります。
- ③ 学校をきれいにします。
 - ・ゴミの分別を行い、校舎内外の美化に努めます。

児童版については、生き物環境委員会で考えを出し合い、全校集会で全校児童に宣言を行った。1月に行動の振り返りを行った。

職員版については、職員で話し合って宣言を行った。児童と同じ時期に行動の振り返りを行った。

3 行動

① 物を大切にします。

自分の持ち物に名前を書くことで、落とし物やなくし物を減らし、自分の物を大切にしようという意識を育てている。また、児童玄関入ってすぐのところに落とし物コーナーを設けて落とし物を並べて目につくようにした。

みんなが使う学習用具や遊具については、次に使う人のことを考えきまった場所に直し、物を大切にできる気持ちを持たせようとした。

② 省エネルギーに努めます。

電気や水道の節電・節水に取り組んだ。各教室を離れる時や休み時間は電気を消すことを心がけるようにした。係の仕事に電気係を設けて、教室移動や、教室を離れるときは必ず消すようにしている学級もある。

節水については、バケツ半分のところにテープを貼り、半分の位置を分かりやすくしたことで、意識しやすくなった。歯磨きは、コップと歯ブラシをセットにしておくことで、コップ1杯を意識させた。

③ 学校をきれいにします。

掃除を縦割り班で行うことにより、上級生が下級生に掃除の仕方を教え、掃除後の反省を毎日行っている。また定期的に朝の草取りや石ころ拾いタイムを設定し、環境ボランティアの方々と一緒に全児童と全職員で校庭の草取り、石ころ拾い作業を行ってきた。そのため、児童の美化への意識も高まりつつある。

11月には、落ち葉掃きボランティア活動に取り組んだ。楽しみながら落ち葉掃きを行う姿が見られた。

生き物環境委員会では、月曜日の業間にある「あそっ子タイム」にボランティア活動で校舎内外の掃除（運動場の草取り、ゴミ拾い、花の水やり）を行い、環境美化に努めている。

地域の公民館の方々といっしょに花植えを行い、学校を花いっぱいに行っている。

ごみの分別がしやすいように、教室内に燃えるゴミ・不燃物のBOXを置いてあるクラスもある。

【ISO宣言発表】



【委員会ゴミ拾い】



【歯磨き】



【縦割り班花植え】



【公民館との花植え】



【落ち葉掃きボランティア】



4 記録

宣言の項目ごとに、各学級で確認し、取り組み状況を振り返った。以下は児童・職員の取り組み状況である。

(1) 児童版

①物を大切にします。	達成率%
・自分の物には名前を書きます。	68.8%
・使ったものは大切にします。	90.6%
②省エネルギーに努めます。	
・休み時間は電気を消します。	38.4%
・バケツの水は半分までにします。	91.0%
・コップ一杯の水で歯磨きをします。	73.5%
③学校をきれいにします。	
・掃除は時間いっぱい最後までします。	81.5%
・ゴミを落とさず、見つけたらひろいます。	43.3%

(2) 職員版

①物を大切にします。	達成率%
・紙の消費を抑え、再生紙や裏紙を利用します。	85.7%
②省エネルギーにつとめます。	
・必要でない電気は、スイッチを切ります。	90.6%
③学校をきれいにします。	
・ゴミの分別を行い、校舎内外の美化に努めます。	88.6%

(3) 平成29年度・平成30年度・平成31年度の電気使用量 (kwh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H29年	7428	6324	6648	7158	6624	4914	6606	7128	7446
H30年	6864	6186	7098	7146	6690	5328	6930	7698	7014
H31年	6714	5070	5622	6450	5886	4626	6984	7086	6210
昨年比	97.8%	82.0%	79.2%	90.3%	88.0%	86.8%	100.8%	92.0%	88.5%

別紙様式2

5 見直し

【成果】

- 自分の物に名前を書くことについては、自分の物をもらったらずぐに名前を書くようにしたり、友達同士お互いにチェックしたりすることで名前を書く意識が高まった
- 節水に関しては、児童の意識も高く、掃除の時バケツの水を半分以下にしたり、手洗いや歯みがきの時水を出しっぱなしにしないなど、こまめに蛇口を閉めたりすることができている。
- 節電に関しては、教室を使用しないときは必ずスイッチを切ったり、ストーブは設定温度を低めにし、こまめに消したり意識する姿が見られた。また、コンセントから抜くことを意識する学級もあった。児童の意識調査の数字は低くなっているが、係活動を取り入れて節電の意識を高め、子どもが意識して消灯する姿も見られた。
- 朝の草取りタイムや全校活動後には、継続的に草取りや石ころ拾いを行ったので校舎周りがきれいになった。定期的に学校ボランティアの方にも来ていただき、職員や全校児童と共に校舎内外の草刈りや掃き掃除など行うことができたため、過ごしやすい環境になってきた。また、落ち葉掃きボランティアは毎年の恒例化になってきていることもあり、楽しみにしている児童もいた。
- 裏紙の使用や用紙の使用の節約については、昨年度よりもさらに職員の意識も高まってきており、印刷は必要最小限にとどめたり、無駄をなくすようにしたりしている。再生紙の利用だけでなく、ポスターやカレンダーの裏紙も利用している。画用紙や色画用紙の切れ端も色分けして再利用している。
- 縦割り班や学級での花植えなどの活動、生き物環境委員会の児童と地区の公民館の方々の花植えを計画的に行うことができ、また、学校ボランティアによる生け花もあり、学校全体が植物やたくさんのお花等に囲まれて潤いのある環境になってきている。
- 生き物環境委員会で、I S O宣言の内容を全校集会で発表し、ポスターに描いて校内に掲示したので、児童職員が共通して取り組むことができた。

【課題】

- 衣服への名前書きがあまりできていないので、落とし物があっても自分のものか分からないことがあった。今後更に保護者とも連携をしながら継続して取り組むことが必要である。
- 休み時間に使ったボール等の片付けができていないことがあった。体育委員会、生活委員会と協力し、みんなで使う物を大切に学習を行い、決められた場所にもどすことを意識させていく取組が必要である。
- 電気をだれも使用していないのについている教室がまれではあるがあった。水道も子どもが使用した後、ちょろちょろと出ていたり蛇口が上向きになっていて次に使用する人が使いにくいこともあったりしたので、学級で指導し継続的に声かけも行っていきたい。
- 全体的にごみを見つけたら拾う習慣をもう少し身につけさせなければいけない。
- 縦割り班掃除のときは無言掃除と時間いっぱい掃除ができているが、学級掃除になると必要のない話をしている児童がいるので、掃除の仕方について学級で指導を続けていく必要がある。
- 職員の意識は昨年度より高くなっているが、児童の意識が昨年度より低くなっている項目があったので、委員会で、I S O宣言の内容を定期的にチェックしたり、全校児童へ呼びかけたりしていく必要がある。